

本年の八月号も亦、緑蔭図書紹介を特集いたしました。今回は、執筆者七名のうち、私どもに近しい編集者二人にも参加を願った次第です。なにしろこの御兩人には、読書量の多さに由来する博識で驚かされたり、又、心に蜜を秘めながら、口には針もつ批評をいつもいただいているのです。プロの本の読み方とは如何なるものであり、自己との「ディ

アレクティーク」でもある文章表現は、どのように澄明潤達であるべきか、範を乞うべく御執筆を懇願いたしました。どうか御熟読下さいますように。

森洋子氏の「ブリュージュルの『子供の遊戯』」は、一昨年の八〇巻第五号からほぼ各月おきの連載で、本号十四回もちまして、約九〇種の遊戯の説明を完了いたしました。そして残る一回、今までの遊戯をふまえての総論をお届けいたします。毎回くりひろげられてきましたように、子どもたちの遊びはアレゴリーと

強い結びつきをもって説明されました。当時にあつては、観念が目に見えるものとしてあり、ひときわ子どもの遊びの中に明瞭に像をむすんだということなのでしょう。今回の文化論的展開が待たれます。なお、本連載が単行本として準備されつつあることもつけ加えていただきます。

「幼がたり」は、関根慶子氏に始まり、本号は、中村為治氏、大槻虎男氏に御寄稿を賜りました。これからも老成された魅力に富む方々が続々と登場されますので御期待下さい。

三十年間、本学教官、又、本誌の編集・発行責任者を務めてきました津守真先生が退かれることになりました。先生の保育学研究の足跡は、本誌のバックナンバーを手にとってゆけば鮮かに辿ることが可能でしょう。津守保育学は、本誌の顔そのものでした。私どもは、その行く手を見守り続けたいと思います。(美)

幼児の教育 第八十二巻 第八号

八月号 ①

定価三〇〇円

昭和五十八年 七月二十五日 印刷

昭和五十八年 八月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発行所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

●本紙御購読についての御注文は発売所
所 フレーベル館にお願いいたします

*万一製品不良品がございましたら、おとりかえいたします。